

第1学年3組 学級活動(1) 指導案

令和5年7月14日(金)第3校時
場 所 教室
児童数 28名
指導者

1 議題 「1学期がんばったね会をしよう」内容(1)ア

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく活発な児童が多い。自分の思いを上手に伝えることができない児童もいるが、友達と楽しく遊ぶことが大好きである。授業中の発言も多くの児童がしているが、中には、みんなの前で発言することが苦手な児童もいる。

(2) 議題選定の理由

本議題は、「またクラスの友達と遊んでもっと仲良くなりたい」と願う児童たちの思いを形にするための提案である。新しい友達ができ、もっと仲良く交流したいと考えたようである。他に「他のクラスともなかよくなるよう」の提案もあったが、計画委員会において「クラスの新しい友だちともっとなかよくなりたい」という考えの基、今回の議題に選定され、その後全員に諮り決定された。

「どんな遊びにするか。」「どんな工夫ができるか。」「どんな係が必要か。」という3点について、互いの意見に耳を傾けながら話し合いを進めていく。一人一人が集団の一員として話し合いに参加しながら、みんな楽しんでる姿を想像して、相手のことを思いやる態度を育てたい。

3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級全体を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己の考え方をもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

4 学校研究主題との関連

(1) 研究主題

新しい社会を生き抜く児童の育成

～プログラミング的思考を軸とした授業展開で社会で生きる情報活用能力を育てる～

(2) 目指す児童像

①探究的な学習の過程において、情報に関わる知識・技能や経験をもとに、課題に対する解決方法を見いだすことができる児童。

②物事を多面的に捉え、問いを見だし、課題を立て、根拠や理由をもって課題解決し、的確に発信できる児童。

③探究的な学習に主体的・協働的に取り組む中で、よりよい生活を求めて、試行錯誤を繰り返したり、粘り強くやり抜いたりすることができる児童。

(3) 研究の仮説

①情報機器を扱うための基本的な技能やモラルを習得させるとともに、ゴールや課題解決のために必要な材料を明確にさせた授業を展開することで、見通しをもって課題解決に向かうこ

とができるであろう。

- ②自分の考えを支える情報を整理し、根拠や理由を明確にして、他者の考えと比べながらよりよい方法を見つけさせることで、論理的に課題解決をすることができるであろう。
- ③自分や友達によさを認め合ったり、地域の方や学校外の方とのかかわりの中で生じた新たな課題を友達と一緒に解決させたりすることで、よりよい生活をつくり上げようという態度が育つであろう。

(4) 手立て

- ①オリエンテーションの充実
 - ・学級会は、自分たちの手で学校・学級生活をよりよくするためのものであることを伝え、話し合う必要感をもてるようにする。
- ②規範意識や協調性を育む話し合い活動
 - ・話し合い活動③「どんな係が必要か」において、複数人数で役割を担えるように決めることで準備や実践活動を行う際に、補い助け合える自治的な活動が見られるようにする。
- ③振り返りの時間を設定
 - ・次時の活動につなげられる言葉をかけ、自分達の活動を振り返らせる。
 - ・自分の役割を最後までできたかを見届けさせ、評価する。

5 事前の活動

月日(曜日)	児童の活動 ○計画委員会 ●全員	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】 (評価方法)
7月6日(木) 業間休み	○議題案を整理、選定する。	・議題選びの視点を念頭に置いて選定することを指導する。	
帰りの会	●議題を決定する。		◎学級生活をよりよくするために進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。【態】 (観察)
7月7日(金) 業間休み	○活動計画を作成する。 ●学級会ノートを作成する。		

6 本時のねらい

クラス全員が楽しめるような「1学期がんばったね会」を考えることができるようにする。

7 展開

(1) 児童の活動計画

第3回学級活動 活動計画 令和5年7月14日(金) 3時間目		
議題	1学期がんばったね会をしよう	
役割分担	司会 () ()、黒板 () ()、ノート記録 ()、提案者 ()	
提案理由	クラスの友達と毎日勉強をがんばっています。2学期も勉強を頑張りたいです。一緒に遊んで、2学期も頑張れたらいいなと思い、提案しました。	
めあて	みんなで楽しめるような「1がっきがんばったね会」を考えよう。	
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・7月19日(水) 2時間目 ・場所は校庭 	
話し合いの順序	気を付けること	資料等

1 はじめのことば	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で、はっきりと言う。 ・大きな声で、はっきりと言う。 ・みんながよくわかるようにはっきりと発表する。 ・提案理由をしっかりと発表する。 ・決まっていることを再確認する。 ・話合いで目指すめあてをしっかりと確認する。 ・しっかりと話を聞くように声をかける。 	学級会グッズ
2 司会グループの紹介		短冊
3 話し合うことの確認		
4 先生のお話		
5 話合い		
①どんなあそびにするか。		
②どんな工夫ができるか。		
③どんな係が必要か。		
6 決まったことの発表		
7 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・理由をつけて意見を言ってもらおう。 ・たくさんの意見を出してもらおう。 ・めあてに沿って話しているか確認する。 ・賛成や反対意見を言ってもらおう。 ・できるだけたくさんの係を出してもらおう。 	
8 先生のお話		
9 終わりの言葉		

(2) 教師の指導計画

話し合いの順序	・指導上の留意点 ☆目指す児童の姿【観点】 (評価方法)
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・元気よくあいさつし、学級会への参加意欲を高める。 ・自分の役割とめあてをはっきりと言えるように事前指導しておく。 ・学級全員で議題を確認できるようにする。 ・提案理由は話し合いの判定基準となるので、提案した背景、現状、解決策等を分かりやすく説明できるよう助言する。 ・決まっていることをはっきりと説明できるように事前指導しておく。 ・めあてに沿って話し合いが進むように確認する。
2 司会グループの紹介	
3 話し合うことの確認	
4 先生のお話	
5 話合い	
①どんなあそびにするか。	
②どんな工夫ができるか。	
③どんな係が必要か。	
6 決まったことの発表	
7 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童を指名できるように支援する。 ・賛成・反対意見に理由をつけて出せるよう発表の仕方を確認する。 ・めあてに沿って話し合われていないときは、めあてにもどって考えるよう助言する。 ・話し合い②については、会の流れがイメージしやすいように助言をする。 ・話し合いの進行や決定がスムーズにできるよう声掛けをする。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、必要に応じて助言する。
8 先生のお話	
9 終わりの言葉	
☆提案理由に沿った内容の工夫や係について考え、進んで自分の意見を発表している。(思考・判断・表現)	
	【観察・発言】
	☆話し合いの進め方や約束を理解している。(知識・技能)
	【観察】
6 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことをノート記録者にはっきりと発表できるように事前指導しておく。 ・発表内容や聞く態度など、自分の学級会の姿を振り返るように声掛けをする。
7 振り返り	
8 先生のお話	
9 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員を賞賛し、さらにめあてに沿った意見が言えた児童や全体のことを考えて意見を言えた児童を賞賛する。 ・大きな声ではっきりと号令するように声を掛け、気持ちよく会を閉じ

る。

8 事後の活動

日時	児童の活動	○指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
【7月18日(火)～19日(水)】 休み時間	○係の準備。	○複数名で担当し、協力して活動できるようにする。 ○協力したり、工夫したりして児童している児童を賞賛する。	◎話合いの活動を通して、自分の役割に責任をもち、準備や集会に進んで取り組もうとしている。（主体的に取り組む態度）【観察】
【7月19日(水)帰りの会】	○活動を振り返る。	○教師から成果と課題を明らかにし、次の行事への意欲をもたせる。	◎集会の目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり、参加したりしている。（思考・判断・表現）【観察】

9 板書計画

だいきかい がつきゆうかい
ぎだい 1がつきがんばったねかいをしよう
ていあんりゆう

1がつき
べんきょう
がんばった

↓

ともだちと
たのしく
あそびたい

↓

2がつきも
がんばろう

めあて みんなでたのしめるような「1がつきがんばった
ねかい」をかんがえよう。

はなしあうこと① どんな あそびに するか
はなしあうこと② どんな くふうが できるか
はなしあうこと③ どんな かかりが ひつようか

きまっていること
7がつ19にち(すい) 2じかんめ
あそびは 2つ
あそびは 2つ

10 ICT活用計画

- ・話合いの順序を大型モニタに提示する。